



2022年6月3日

各位

会社名 富士ダイス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保井恒之
(コード番号: 6167 プライム市場)
問合せ先 常務取締役業務本部長 春田善和
(TEL. 03-3759-7182)

(訂正)「2022年3月期 決算説明資料」の一部訂正について

2022年6月3日に公表いたしました「2022年3月期 決算説明資料」の一部に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正理由

4. 中期経営計画の進捗 ①生産性向上・業務効率化及び直近のメディア掲載記事に関して、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

23 ページ 4. 中期経営計画の進捗 ①生産性向上・業務効率化

(訂正前)

対象事業所	具体的な施策スケジュール		
	2021年度 (実績)	2022年度	2023年度
郡山製造所 【2019.2Q比】	製造原価 2.0%低減 ①機械稼働率 8.7%改善 ②直接作業時間 9.1%改善 ③リードタイム 25.0%短縮 ※①②はMHあたり	目標：製造原価率1.5%低減(全体) 標準時間の精度向上 ・標準時間-実績の分析 ・進捗の見える化 生産計画の精度向上 ・作業指示、予実管理	目標：製造原価率3.0%低減(全体) 改善の更なるスパイラルアップ ・改善余地を分析、全体での底上げ ・加工条件による加工時間短縮

(訂正後)

対象事業所	具体的な施策スケジュール		
	2021年度 (実績)	2022年度	2023年度
郡山製造所 【2019.2Q比】	製造原価 2.0%低減 ①機械稼働率 8.7%改善 ②直接作業時間 9.1%改善 ③リードタイム 25.0%短縮 ※①②はMHあたり	目標：製造原価率1.5%低減(全体) 標準時間の精度向上 ・標準時間-実績の分析 ・進捗の見える化 生産計画の精度向上 ・作業指示、予実管理	目標：製造原価率3.0%低減(全体) 改善の更なるスパイラルアップ ・改善余地を分析、全体での底上げ ・加工条件による加工時間短縮

● 熊本日日業新聞
2022年4月21日



熊本製造所での治金棟新設に向けて、南関町と立地協定を結んだ富士ダイスの久保井恒之社長（中央）ら。20日、県庁

富士ダイス熊本
南関町に新工場
EV需要増対応
産業用工具・金型製造販売の富士ダイス（東京）は南関町の熊本製造所に、合金素材をつくるための治金棟を新設する。20日、県庁で同町と立地協定を結んだ。既存の治金棟が老朽化していることや、電気自動車（EV）の部品向け合金の需要が増えていることから、新棟建設で需要に対応する。

久保井恒之社長は「電気自動車のモーターやバッテリー向けの需要が増えており、付加価値の高い製品を供給していきたい」と述べた。半導体関連の金型や素材も製造しており、台湾積体回路製造（TSMC）が菊陽町に工場を新設することについて「今後、半導体関連の需要増も期待している」と話した。

● 熊本日日業新聞
2022年4月21日



熊本製造所での治金棟新設に向けて、南関町と立地協定を結んだ富士ダイスの久保井恒之社長（中央）ら。20日、県庁

富士ダイス熊本
南関町に新工場
EV需要増対応
産業用工具・金型製造販売の富士ダイス（東京）は南関町の熊本製造所に、合金素材をつくるための治金棟を新設する。20日、県庁で同町と立地協定を結んだ。既存の治金棟が老朽化していることや、電気自動車（EV）の部品向け合金の需要が増えていることから、新棟建設で需要に対応する。

久保井恒之社長は「電気自動車のモーターやバッテリー向けの需要が増えており、付加価値の高い製品を供給していきたい」と述べた。半導体関連の金型や素材も製造しており、台湾積体回路製造（TSMC）が菊陽町に工場を新設することについて「今後、半導体関連の需要増も期待している」と話した。

以 上